



堺泉北港湾振興連絡協議会 (大阪府、堺市、高石市、泉大津市)

◆お問い合わせ:

〒595-0055 大阪府泉大津市なぎさ町6番1号

堺泉北港ポートサービスセンタービル10階 大阪府港湾局内

TEL: 0725-21-7203

FAX: 0725-21-7259

大阪府港湾振興Webサイト

<http://www.osakaprefports.jp>

リサイクル適正 (B)

2100

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



平成24年10月発行

この印刷物は、板紙へリサイクルできます。



堺泉北港臨海 パスポート

Sakai-Semboku Sea-Side Passport



堺

高石

泉大津

堺泉北港



〈堺～高石～泉大津〉 みんなでかけよう！

堺泉北港臨海エリアへようこそ

《本冊子の特色》

本冊子は堺市・高石市・泉大津市の3市にわたる港湾沿岸部から、国道26号線沿いまでの地域に焦点を当て、名所・旧跡をはじめ様々な施設を取り上げています。本冊子に掲載されているミニ情報をもとに、ハイキングやサイクリング、自動車でのドライブをお楽しみください。

《地図について》

最終巻末に地図を二面配置しました。第一面は3市の名所・旧跡や各施設を訪問しやすいように道路がわかる「拡大図」としました。

第二面は3市の名所・旧跡や各施設の全体位置が分かるように「全体図」としました。また、各市の区分けを色の違いで表示しています。堺市は〈青色〉、高石市は〈紫色〉、泉大津市は〈緑色〉とし、名所・旧跡や各施設に通し番号と名称を各々の色で表示しています。



～堺～高石～泉大津～



りゅう じょ しん ぞう

龍女神像 ①

Dragon Goddess Statue



別名「乙姫(おとひめ)像」とも呼ばれ、東洋一を誇った大浜水族館のシンボルでしたが、水族館の廃館とともに解体され撤去されました。その後、平成12年(2000年)に市制110周年記念事業において復元され、平和と繁栄のシンボルとして親しまれています。

所 堺市堺区北波止町



旧堺燈台 ②

Old Sakai Lighthouse



明治10年(1877年)に建築され、現地に現存する木造洋式燈台としては、我が国で最も古いものの一つで、昭和47年(1972年)に国の史跡に認定されています。現在は保存修理工事が行われ、往時の姿が蘇っています。

所 堺市堺区大浜北町5丁1-22 (内部非公開)

てっ ぼう か じ や しき 鉄砲鍛冶屋敷 ③

Old Gunsmith's House



種子島に伝わった鉄砲の製法を橘屋又三郎が堺に伝えてから、堺は日本一の鉄砲生産地になりました。江戸時代の鉄砲鍛冶屋敷の面影を現代に伝える唯一の貴重な建築物で、市の指定有形文化財です。

所 堺市堺区北旅籠町西1丁3-22 (内部非公開)



まちや 堺市立町家歴史館 山口家住宅 ④

Sakai city "Machiya" History Museum
Yamaguchi's House Residence



江戸時代初期に建築された町屋で、国の重要文化財に指定されています。伝統的な堺の町屋暮らしを感じることができる、魅力ある施設です。内部では観光ボランティアガイドによる案内もあります。

☎ 072-224-1155 所 堺市堺区錦之町東1丁2-31
🕒 10:00~16:00

堺伝統産業会館 ⑤

Sakai Traditional Industry Hall



堺の伝統産業を一堂に集めた施設。刃物、線香、和晒(わざらし)、ゆかた、敷物、昆布、自転車、和菓子などの体験・学習・展示コーナーや各業界の逸品、堺ゆかりの名産品を販売するショップ、さまざまな珍しい刃物やプロ用刃物を展示・販売する刃物ミュージアムがあります。

☎ 072-227-1001 所 堺市堺区材木町西1丁1-30
🕒 10:00~17:00



妙国寺 ⑥

Myokokuji Temple



永禄5年(1562年)創建、境内の大蘇鉄(そてつ)は織田信長が安土城に移植しましたが、毎夜「堺に帰りたい」と泣いたため再び堺へ帰されたという伝説の樹で、国指定の天然記念物です。また、慶応4年(1868年)に起こった堺事件の土佐藩士11名の切腹の地としても有名です。

☎ 072-233-0369 所 堺市堺区材木町東4丁1-4

🕒 10:00~16:00 (15名以上は要予約)

菅原神社 ⑦

Sugawara Jinja Shrine



大阪府下では貴重な楼門(ろうもん)建築で、軒を支える複雑な組物と彫刻を刻んだ絵様肘木(えようひじき)という組物を用いた建築技法が特徴の一つです。天神さんとも呼ばれ堺戎としても有名です。

☎ 072-232-2450 所 堺市堺区戎之町東2丁1-38

あ くち

開口神社 ⑧

Aguchi Jinja Shrine



天平18年(746年)に行基が境内に念仏寺を建立し、大同元年(806年)に空海が宝塔を建てたので大寺とも呼ばれ、旧市内唯一の式内社です。

☎ 072-221-0171 所 堺市堺区甲斐町東2丁1-29

千利休屋敷跡 ⑨

The Remains of the Sen-noriky Home Site



千利休は大永2年(1522年)、堺の裕福な町衆魚屋(ととや)に生まれ、17歳の時、北向道陳に茶道を学び、後に武野紹鷗(たけのじょうおう)に師事し、茶道を大成させました。屋敷跡には椿の井戸があります。

所 堺市堺区宿院町西1丁17-1



大安寺 ⑩

Daianji Temple



室町時代の初期応永年間(1394～1428年)、徳秀士薩(とくしゅうしいん)が開祖した臨済宗東福寺派の寺院で、二町(約220m)四方の寺域を持つ大寺院であったと伝えられています。本堂と狩野派の作といわれる鶴、松、藤などの見事な襖絵は共に国の重要文化財として指定されています。

所 堺市堺区南旅籠町東4丁1-4 (内部非公開)

～堺～高石～泉大津～



なん しゅう じ

南宋寺 ⑪

Nansyuji Temple



弘治3年(1557年)三好長慶が父元長の菩提を弔うために、大林宗套(だいらんそうとう)を迎え開山とした臨済宗大徳寺派の寺院です。千利休ごのみの茶室実相庵(じっそうあん)や伝説の徳川家康の墓などがあり、大坂夏の陣で焼失後、沢庵宗彭(たくあんそうほう)らによって再建されました。

☎ 072-232-1654 **所** 堺市堺区南旅籠町東3丁1-2

+ 9:00～16:00



諏訪ノ森駅舎 ⑫

Suwanomori Station House



諏訪ノ森駅の西駅舎は、大正8年(1919年)に建設されました。入口上方のアーチ状の窓にはめこまれたステンドグラスには浜寺から諏訪の森にかけての白砂青松の風景が描かれ、駅舎下部には鉄平石(てっぺいせき)が貼り付けられたデザインとなっています。平成10年(1998年)に国の登録有形文化財となりました。

所 堺市西区浜寺諏訪森町西2丁78

～堺～高石～泉大津～



浜寺公園駅舎 ⑬

Hamaderakōen Station House



現在の浜寺公園駅は、明治39年(1906年)に開設された浜寺海水浴場への玄関口として明治40年(1907年)に建設されました。とっくり形の柱周り、屋根正面に見える屋根窓、左右対称のハーフティンバー様式が特徴的で、東京駅などの設計で知られる辰野金吾が所属した辰野片岡建築事務所の設計によるものです。平成10年(1998年)に国の登録有形文化財となりました。

所 堺市西区浜寺公園町2丁188



浜寺水路 ⑭

Hamadera Waterway



堺泉北臨海工業地帯の埋立地との間にある長さ約3キロ、幅200mの水路。水路を囲む浜寺公園と埋立地緑地帯には遊歩道が整備されており、ジョギングなど多くの方に親しまれています。また毎年6月には、ドラゴンボート世界選手権2次選考会にあたる堺泉北港ドラゴンボート大会が盛大に開催されています。



大阪府立漕艇センター ⑮

Osaka Prefectural Boat Center



府立漕艇センターは堺泉北臨海工業地帯の造成に伴いその広大な埋立地との間に出現した「浜寺水路」を利用して、昭和44年(1969年)に関西随一の理想的な漕艇コースとして誕生し、艇庫が建設されました。浜寺公園・臨海緑地内の施設として府民の憩いの場としても親しまれています。

☎ 072-268-3100 所 高石市高砂 1 丁目
 ⬆ 9:00 ~ 17:30 休 毎週木曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始



浜寺公園 16

Hamadera Park



浜寺公園は、古い歴史を持つ公園です。松林は、明治時代から守り継がれ「日本の名松100選」にも選ばれています。「鳳凰松」など古名松や「惜松碑(せきしょうひ)」「与謝野晶子歌碑」などを巡る歴史散策も楽しめます。指定区域ではバーベキューも可能です。

☎ 072-262-6300 所 高石市羽衣公園丁



ばら庭園(浜寺公園内) 17

Rose garden "Barateien"



日本の山野の原風景にバラが咲き誇ります。「山の景」「里の景」「海辺の景」など、どこか懐かしい風景の中に、300種6500株のバラが彩りを奏でます。特に5月上旬～6月上旬、10月上旬～11月上旬のシーズンには、庭園一円にバラの香りが漂います。

☎ 072-262-6300 休 毎週火曜(祝日の場合は翌日)、休園月日:12/16～3/15

📅 開園日時:3/16～12/15 / 10:00～17:00(入園は16:00まで)

交通遊園(浜寺公園内) ⑮

Traffic Park



大人も子どもも楽しめるアミューズメント施設です。一周760mの「ゴーカート」、花壇広場前駅から交通遊園駅を往復する「子ども汽車」、バッテリーカーやムーンカートなど楽しい乗り物がいっぱい！「D51機関車」「チンチン電車」の現物展示もあります。

☎ 072-261-8696 休 毎週火曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
所 高石市羽衣公園丁 冬期:10月/第3月曜～3/20 9:30～16:30
夏期:3/21～10月/第3月曜の前日 10:00～17:00

大阪府羽衣青少年センター(研修施設) ⑯ 大阪国際ユースホステル(宿泊施設)

Osaka Hagoromo Youth Activities Center
Osaka International Youth Hostel



日帰り、または宿泊でレクリエーションや研修が行なえる関西随一の宿泊研修施設です。当施設の「バーベキューガーデン羽衣」は屋根付きなので、雨天でもBBQを楽しめます。道具や食材も用意できるので、手ぶらでもOK！(事前予約が必要)。研修室・体育館・グラウンドもあり、併設のユースホステルを使えば、宿泊研修やグループでのご利用に便利です。

☎ 研修:072-263-1271 / 宿泊:072-265-8539
所 高石市羽衣公園丁(浜寺公園南端)



高師浜駅舎 ②①

Takashinohama Station House



高師浜駅は、府内有数の海水浴場であった高師浜の玄関口として大正8年(1919年)に建設されました。高級住宅地として開発された周辺の街並みにあわせ、高い天井と、入口上部にステンドグラスを配した西洋風のデザインが施された駅舎は、昭和45年(1970年)に線路が高架となった後もそのまま使用されています。

所 高石市高師浜4丁目1-37



大阪府立臨海スポーツセンター ②①

Osaka Prefectural Rinkai Sports Center



府立臨海スポーツセンターは、第1・2体育室では、バスケットボール・バレーボール・テニス・卓球・バドミントン・フットサル等の練習や大会が行えます。年中滑走可能なアイススケート場や各種研修会等にも利用可能な大・小会議室もあり、府民のスポーツ振興及び文化的な集會に利用していただける施設です。

☎ 072-268-8351

🕒 9:00 ~ 21:00

所 高石市高師浜丁6-1

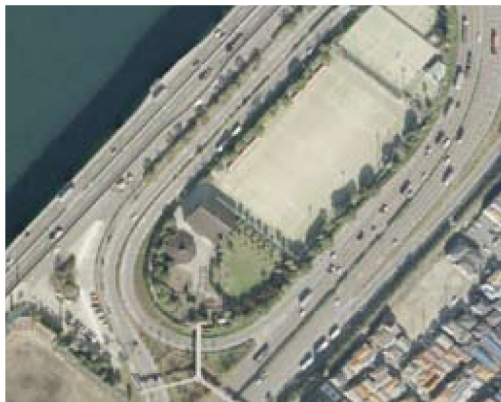
休 年末年始

アイススケート場のみ毎週木曜日(祝日の場合は翌日)



高師浜運動広場・野球場・テニス場 野外活動センター 22

Takashinohama Sports Stadium, Baseball Field,
Tennis Ground, and Outdoor Sports Center



サッカー・ソフトボール・ホッケー・野球・テニスなどの球技が行える施設です。野外活動センターには、キャンプができる施設(活動広場、食卓広場、炊飯場等)と管理棟(研修活動室、トイレ、シャワー室等)が完備されています。

☎ 072-265-1001 (高石市教育部 生涯学習課)

所 高石市高師浜丁8



アプラたかいし/ たかいし市民文化会館 23

Apura Takaishi/
Takaishi Civil Culture Hall



アプラたかいしは南海本線高石駅前の複合施設です。デイリーな買物が楽しめる40店舗のショッピングゾーンや、市民の文化活動の拠点としてご利用頂く市民文化会館。さらには、読みきかせのできる絵本コーナーを備えた図書館があり、世代を超えて一日楽しんで頂けます。

🌐 <http://appla-hall.jp> 所 高石市綾園1丁目9-1



せん しょう じ

専稱寺(綾井城) ②④

Senshoji Temple (Ayai Castle)



かつてこの地には、岸和田城主和田義明の弟、綾井伝内の居城であった綾井城がありました。戦国時代には沼間一族が城主となりますが、兵火にあって消失。その後、玄誓上人がお告げにより濠から阿弥陀如来を発見し本尊として、法堂を建立したと伝えられています。

所 高石市綾園2丁目2-17



綾井の清水 ②⑤

Ayai-no-Shimizu Water



この清水は、綾井の地名の由来となった名水であり、綾織りのように美しい水が湧くところから、綾井とよばれるようになったと地元では伝えられています。清水の北側を流れている農業用水路も江戸時代に作られたもので、現在もこの地域の重要な用水の一つです。

所 高石市綾園2丁目5



助松神社 ②6

Sukematsu Jinja Shrine



本殿は、二間社流造(にけんしゃながれづくり)で柱と柱の間の数が必ず偶数になるように造られており、また、身舎柱(もやばしら)に面取りをした角柱を使うなど、他に例のない珍しいものです。境内には、1600年代後半の鳥居や手洗鉢、百度石などが残っています。

☎ 0725-22-4706 所 泉大津市助松町1丁目

田中本陣 ②7

Tanaka Honjin Hall



田中家は、清和源氏の系統で、新田氏と同族関係にあると伝えられ、室町末期の元亀年間(1570～73年)に田中遠江守(とおとうみのかみ)重景が助松村に移住したのが初めとされています。屋敷は、一町(約110m)四方の大きさで、江戸時代の豪農であったことが伺われます。

所 泉大津市助松町2丁目 (内部非公開)



ロシア兵墓地 ②⑧

The Russian Soldiers' Grave Yard



明治37年～38年(1904～05年)、多くのロシア兵が日露戦争で捕虜となって日本各地に収容されました。地域の住民が異国の地で寂しく死んでいった兵士のために、自分たちの墓地の内、約600平方メートルを提供。現在も、春日町墓地の中に墓石が並んでいます。

所 泉大津市春日町

大津神社 ②⑨

Otsu Jinja Shrine



もともと若宮八幡と呼ばれていましたが、明治41年(1908年)に近辺の4社を合祀し大津神社と改称しました。境内には、江戸時代前期の石造物が多く、特に寛永元年(1624年)の石灯ろう2基や寛永20年銘の石鳥居などが有名です。

☎ 0725-32-0603

所 泉大津市若宮町4-12



おり あむ かん

織編館 30

Oriamukan Hall



織編館は「織り」と「編む」をテーマとした博物館で、繊維関連資料や民俗資料を収集・保管し、展示や調査研究、また体験学習会も開催しています。常設展示室では、泉大津市の地場産業である毛布やニットの資料、紐の繊維や組紐台なども展示しています。

☎ 0725-31-4455 所 泉大津市旭町 22-45

🕒 開館時間：10:00～17:00(入館は16:30まで) 休 毎週水曜、年末年始



浜街道 31

Hama-kaido Road



紀州街道の海側に平行して走る「浜街道」には、各時代の町屋建築が多数残され泉大津市の貴重な文化資産になっています。工場を象徴するのこぎり屋根や虫籠窓(むしこまど)、鍾馗(しょうき)様が鎮座(ちんざ)する屋根飾りなど貴重な建築様式があちらこちらに見られ、歴史的建造物群と毛布発祥の地として住工が混在する一種独特な歴史的景観をかもし出す街並みとなっています。

所 泉大津市本町、東港町



泉大津大橋 ③②

Izumitsu Ohashi Bridge



堺泉北港の小松埠頭(ふとう)と助松埠頭を結ぶ連絡橋であり、アーチ部材を中央分離帯に一本だけ設けるという世界でも珍しい「単弦(たんげん)アーチ橋」(全長175m)で、堺泉北港のシンボルとして市民に親しまれています。市街地からは小松緑道を通してつながっています。

所 泉大津市新港町、小津島町



泉大津旧港 (きららタウン泉大津) ③③

The Old Port of Izumiotsu
Kirara Town Izumiotsu



繊維産業の発展とともに、輸送港の必要から3年余りの歳月をかけて、昭和12年(1937年)に泉大津旧港は竣工されました。その後、再開港で整備され、新しい街に変わりました。現在では、市民が海に親しむ憩いの場となっています。

所 泉大津市なぎさ町



きららセンタービル(展望施設) 34

Kirara Center Bldg.



阪神高速湾岸線に隣接し、パーキングエリアがビルの3階となっており、11階に昇ると展望室からベイエリアを一望できます。展望施設へは1階のエレベータで5階へ上がり、阪神高速道路パーキングエリア側に入ってください。

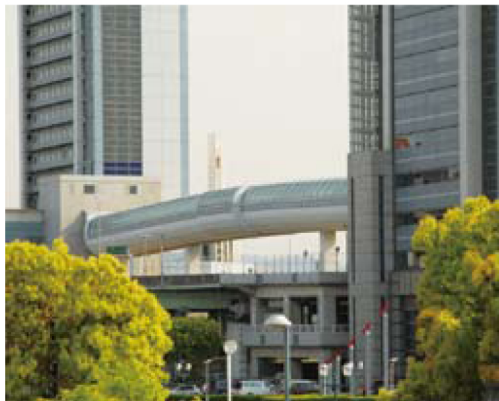
所 泉大津市なぎさ町6-1

+ 阪神高速道路パーキングエリアへの出入可能時間: 8:00-21:00



空中を渡る連絡通路 35

The accessway, Acrossing in the Air



泉大津旧港の再開発事業により建設された「きららセンタービル」と「ホテルサンルート関空」の間を結ぶかたちで、阪神高速湾岸線の上にわたされた全国でも珍しい空中通路で、通路全体が強化プラスチックで覆われています。

所 泉大津市なぎさ町

memo